

2011年10月12日

ソニー株式会社  
株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント

PlayStation®Network、“Sony Entertainment Network”、Sony Online Entertainmentの  
ユーザーアカウントへの第三者の“なりすまし”による不正なサインインの試行について

PlayStation®Network (PSN)、“Sony Entertainment Network” (SEN) および Sony Online Entertainment LLC (SOE) のサービスにおいて、ユーザーアカウントへの第三者の“なりすまし”による不正なサインインの試行が判明しました。当社は今回の不正行為が、米国太平洋夏時間10月7日から10日にかけて行われたことを確認し、対策を講じています。

今回“なりすまし”による不正なサインインが試行されたアカウントのうち、約93,000アカウント(PSN/SEN:約60,000 SOE:約33,000)が当社に登録されている現在有効なアカウントと一致していることが判明しました。一致したアカウントについては利用を一時停止しており、一時停止前に不正にサインインが実行された可能性のあるアカウントは、ごく一部と認識しています。不正なサインインが試行されたアカウントをお持ちのお客様に対してはEメールをお送りし、パスワードの変更をお願いしていきます。加えて、ウェブサイト等を通じて、当社サービスをご利用頂いているお客様に対して本件について広くお知らせするとともに、サービスの利用にあたっては定期的にパスワードの変更を行って頂けるよう、改めてお願いしています。また当社は、今回の不正サインインによる当該アカウントへの影響について、引き続き調査していきます。

今回の不正ログインの試行者は、他社のサービスにログインするために使用されているとみられるユーザーID/パスワードの情報を流用し、当社のサービスに不正にログインを試みた可能性があります。なお、この不正なサインインの試行は“なりすまし”行為であり、当社のデータサーバーへの不正侵入は確認されておりません。また、これによるクレジットカード情報の漏えいはありません。